

4年 2学期【国語】 主な評価規準

江戸川区立第二葛西小学校

単元	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
「夏の思い出」 記者になろう	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	「夏の思い出」について聞きたいことの中心を捉えている。	記者になったつもりで、「夏の思い出」についてインタビューしている。
		「夏の思い出」についてインタビューする活動をしている。	
写真をもとに 話そう	相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。	写真を見て気づいたことや想像したことをもとに、話の構成を考えている。	写真を見て気づいたことや想像したことを整理してまとめ、発表しようとしている。
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	話の中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	
		写真を見て気づいたことや想像したことを話したり、それらを聞いたりする活動をしている。	
新聞を作ろう	漢字と仮名を用いた表記、改行の仕方、句読点の打ち方などの正しい書き方を理解して、新聞記事の中で使っている。	読み手に伝わりやすいような、記事の配置や分量、見出しなど、書き表し方を工夫している。	学校生活での出来事を記事に書き、他の学年の人たちに知らせるための新聞を作っている。
	割り付けをもとに、記事の分量と写真・図表との関係について理解している。	間違いを正したり、読み手に伝わりやすい内容かを確かめたりして、文章を整えている。	
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	調べたことを記事にするなど、事実や考えたことを書く活動をしている。	
	様子や行動、心情を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	ゆみ子と両親の気持ちの変化や情景について、戦中から戦後へと時代の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	戦争中、ゆみ子に対する父と母の思いの違いを話し合っている。

一つの花	戦中・戦後の時代背景と、そこに生きたゆみ子との関係について理解している。	「一つの花」を読んで心に残ったことや出来事について、感想や考えをもっている。	戦争中と十年後の場面を表にして比較し、考えたことを話し合っている。
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	「一つの花」を読み、内容や考えたことなどを伝え合う活動をしている。	「戦争が激しかったころ」「父の出征」「戦後の平和な様子」など、場面の移り変わりと登場人物の心情の変化を、想像を広げながら読み、心に残った場面や出来事を中心に感想を書いて、友達に伝えている。
		「一つの花」という題名が表していることについての自分の考えを書き、伝えたいことを明確にしている。	
		「一つの花」を読み、変化した自分の思いや考えを伝えるために、書き表し方を工夫している。	
		書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想を伝え合い、文章のよいところを見つけている。	
		感じたことや想像したことを書く活動をしている。	
いろいろな手紙を書こう	丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら手紙を書いている。	間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、手紙の内容を整えている。	送る相手や伝える目的に合った手紙を書いている。
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	行事の案内やお礼など、伝えたいことを手紙に書く活動をしている。	
「ショートショート」を書こう	漢字と仮名を用いた表記、改行の仕方、句読点の打ち方を理解している。	「ショートショート」を書くために、不思議な言葉をもとに想像を広げ、設定や物語の展開を考えて、伝えたいことを明確にしている。	不思議な言葉を作り、自由に想像を広げて「ショートショート」を書いている。
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	「ショートショート」を作るなど、想像したことを書く活動をしている。	
	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	ごんや兵十の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	ごんの気持ちがわかる表現を場面ごとに書き出し、その変化を話し合っている。
	ごんや兵十の心情の変化と、表現や場面との関係について理解している。	物語を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	ごんと兵十の気持ちがいちばん近づいたのはどこか、話し合っている。

ごんぎつね	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	物語を読み、ごんや兵十の心情の変化を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。	場面や情景の移り変わりとともに変化するごんや兵十の気持ちを、行動や会話などから想像豊かに読み、そのおもしろさを「せんでんポスター」に表そうとしている。
		「ごんぎつね」を勧めるために、題名を考え、「せんでんポスター」の構成を考えている。	
		「せんでんポスター」を書くために、読んだ感想や考えを明確にして、書き表し方を工夫している。	
		「ごんぎつね」を勧めているかなど、ポスターに対する感想や意見を伝え合っている。	
		「せんでんポスター」を通して、感じたことや想像したことを書く活動をしている。	
新スポーツを考えよう	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。	目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、クラスの意見をまとめている。	目的や進め方を確かめて、司会や提案・記録の役割を果たしながら話し合おうとしている。
	相手を見て話したり聞いたりするとともに、自分の意見を積極的に話している。	互いの考えを伝えるなどして、学級全体で話し合う活動をしている。	
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。		
ウミガメの命をつなぐ	筆者の考えとそれを支える研究や実験など、情報と情報との関係について理解している。	中心となる語や文を見つけて要約している。	名古屋港水族館のウミガメ研究をまとめている。
	必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。	「ウミガメの命をつなぐ」を読んで、書かれた事柄に興味をもっている。	この説明文を読んで、興味をもった事柄を確かめている。
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	「ウミガメの命をつなぐ」を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明する活動をしている。	名古屋港水族館による、ウミガメの生活や成長の様子の研究や実験について読み、興味をもったことを要約し、その内容を紹介する文章を書いている。
		「ウミガメの命をつなぐ」の要約をするために、大事な言葉や文をもとに、文章の構成を考えている。	
		「ウミガメの命をつなぐ」で興味をもったことを紹介するために、要約を取り入れて書き表し方を工夫している。	

		友達がどんなことに興味をもったかに気をつけて，文章に対する感想や意見を伝え合っている。	
		読んだことやそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	
「不思議ずかん」を作ろう	題材について取材したことをメモする方法や，パソコンや事典などで調べる方法を理解し使っている。	間違いを正したり，読む人を考えた言葉づかいやわかりやすい言葉に言い換えたりして，文や文章を整えている。	身の回りの不思議を集め，図や写真を利用して，読む人にわかりやすく，おもしろい「不思議ずかん」を作っている。
	新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	題名や書き出しを工夫しているか，むずかしい言葉に説明を加えているかなど，感想や意見を伝え合い，原稿のよいところを見つけている。	
		「不思議ずかん」を作るために，事実やそれをもとに調べたり考えたりしたことを書く活動をしている。	